



山陽路に春の到来を告げる

三原神明祭

みはらしんめいち

2 6 金
7 土
8 日

案内図



主な催し

とき	内容	ところ
4日(水)	11時ごろ	神明大だるまの設置 東町一・三丁目(6)
6日(金)~8日(日)	9時~20時	植木市など 館町・本町(3)
	10時~16時	だるま供養塔 神明会館東側(5)
7日(土)	10時30分~13時	三原だるま販売 隆景広場(1)、浮城広場(2)
	13時~	夫婦漫才、落語、バルーンアートショー 神明会館(5)
8日(日)	9時~15時	少年剣道競技大会 三原小学校体育館(4)
	11時~13時30分	津軽三味線演奏 神明会館特設ステージ(5)

※()内の番号は案内図の番号です。時間は変更になる場合があります。

6日(金)~8日(日)の3日間、三原神明市が開催されます。JR三原駅北側一帯にだるま市や植木市など約500の露店が並び、周辺でもさまざまな関連イベントが行われます。400年以上の歴史がある春祭りとして、期間中は約30万人の人出でにぎわいます。

周観光課
☎0848・67・6014

開催区域を含め、市内全域では空き缶や吸い殻などのポイ捨てが禁止されています。また、開催区域の一部は、喫煙制限区域に指定されています。喫煙は、灰皿の設置してある場所をお願いします。誰もが楽しめるきれいな神明市になるよう協力をお願いします。

問い合わせ先 生活環境課(☎0848・67・6194)

ポイ捨て・歩きたばこはやめましょう

深町線(中之町・如水館・深町方面と福地線(系崎・木原方面)は、6日(金)の始発から8日(日)の終便まで、運行経路の一部を変更します。

問い合わせ先 芸陽バス(☎0848・62・4701)、中国バス(☎0848・953・5391)、新幹線(☎0848・85・0315)

だるま面相描き体験

とき 7日(土)13時~15時
8日(日)10時~15時
ところ うきしろロビ一
(JR三原駅構内)

定員 各50人(先着順)

参加費 500円

問い合わせ先 三原観光協会(☎0848・67・5877)



復活！三原だるま あの光景をもう一度



▲昭和20年代後半に東町で撮影された
とされる写真

昭和20年代後半に写されたときとされる1枚の写真。大だるまを背に、人々がカメラに笑顔を向けています。彼らの前にズラリと並んでいるのは、愛嬌のある表情をした三原だるまの張り子。当時、子どもたちがこの張り子をかぶって通りを練り歩いたといいます。

今年の神明市では、途絶えてしまっていたこの三原だるまの行列が復活します。三原観光協会の呼び掛けで市民有志が「復活！三原だるま実行委員会」を結成し、行列の再現に向けて準備を進めてきました。

主役となる張り子は、写真を手掛かりに形や大きさを決め、25体全てを手作りしました。竹ひごで骨組み

を作り、新聞紙や和紙を何枚も貼り重ねる製法も以前のま。色付けと面相描きは、本番で張り子をかぶって歩く三原小学校の3年生が、三原だるま保存育成会の指導を受け、挑戦しました。

実行委員長で県立広島大学3年生の萱島みゆきさんは、「途絶えてしまった行事をみんなの力で再現できたい。神明市を盛り上げる一助になれば」と力を込めます。60年余りの時を経て、現代によみがえるだるま行列。露店の間を練り歩くかわいいだるまさんが、祭りに花を添えます。



▶「かわいいだるま行列を見に来てください」と話す実行委員長の萱島みゆきさん



だるま行列

とき 6日(金)13時~15時

※終了時間は早まる場合があります。

ところ 三原小学校↓神明だるま

ま付近(東町三丁目)

※雨天の場合はJR三原駅構内。

問い合わせ先 三原観光協会

(☎0848・67・5877)

ふわふわだるま ミハラッキー

市非公認キャラクターのミハラッキーが神明市にも登場します。思い切り飛んで！楽しく跳ねて！子どもたちもハッピー！

とき 7日(土)・8日(日) 10時~17時

ところ 三原駅前市民広場

参加費 300円

※荒天、その他の事情により、変更または中止する場合があります。

問い合わせ先 観光課(☎0848・67・6014)



期間中に限定商品を販売します。

●限定だるま焼印入り
瀬戸内レモンあんぱん 120円

とき 7日(土)・8日(日)10時~

●みはら神明鶏もつ煮 100円

とき 7日(土)・8日(日)11時~

※両日各100食限定。

問い合わせ先

道の駅「みはら神明の里」(☎0848・63・8585)

